

こんにちは！ こしいしかつ子

発行元：奥石且子 横浜市栄区公田町514小岩井ビル2F
TEL045-894-9956 FAX045-894-9957
<http://www.koshiishikatsuko.jp/>



-働く女性・母親の目線で地域の課題を市政に届けます- **です!!** [レポートNo. 4]

「環境健康学トランスレーター」としての活動5年目になりました

科学や技術の世界は日進月歩で進みます。環境化学物質問題でも同じです。化学物質などによる地球環境汚染が、私たち一人一人にどのように影響し、次世代、さらに将来の世代にどう影響するかを研究者の最新の知見も踏まえ、一般の方々に分かりやすく伝えることが役目です。環境健康学についての一般の方々と研究者の間の橋渡し役です。（千葉大学予防医学センター内、NPO法人次世代環境健康学センター認定）

- 千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学

<http://www.m.chiba-u.ac.jp/class/bioenvmed/>

身近な化学物質と私たちの暮らし

今年は、COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が名古屋にて開催され、バラエティに富んだ生命が息づく自然環境を守るために行動する大きな節目の年となります。私たちは日常の暮らしの中で意識することなく地球規模の環境汚染に加担してしまっていることがあります。化学物質を例にすると、洗剤や化粧品、医薬品など直接人体に影響するものが、めぐりめぐって広域かつ長期的に影響を及ぼすこともあります。

「予防原則」という考え方

環境問題も経済問題などと同じく、原因が複合的なため厳密な予測を立てることは不可能です。しかし生命に直接関わるリスクは、科学的立証が成立しなくても回避しなくてはなりません。自然＝安心、化学物質＝危険と決め付けて過剰に反応することなく、情報に対して冷静な判断力を持ちながら、私たち自身の命と健康を守るための提案をしていきたいと考えます。

- 環境省 <http://www.env.go.jp/>
- ダイオキシン環境ホルモン対策国民会議

<http://www.kokumin-kaigi.org/>

これからも環境問題についてさまざまな情報を発信してきます。



[こしいしかつ子プロフィール] 昭和43年(1968)横浜市栄区上郷町生まれの2児の母●横浜市立犬山小学校(現上郷小)上郷中・県立上郷高校(現横浜栄)・川村学園女子短期大学英文科卒業●古美術から現代アートまでを対象としたイベント企画に従事●その後前横浜市議員つのだ宏子事務所に勤務●参議院比例区支部長秘書として子育てに市民活動にと奮闘
[現在] 自民党横浜市連青年局次長●さかえ福祉まごころの会理事長●国際芸術家センター元理事●環境健康学トランスレーター●アフリカエイズ孤児を支援する女性の会会長●学校給食と子どもの健康を考える会会員●三味線音楽普及の会会員 他

こんにちは! **こしいしかつ子**です!!

将来に安心感がありますか

栄区の高齢化率は横浜市の平均を上回っています。高齢者が安心して暮らすための環境整備とともに、若者が住みたい、住むことが出来る街づくりが必要です。現状を検証し、分野を分けない政策統合によって、質の高い議論と施策実現を可能にしたいと思います。

[教育] 質の高い教育と安全な教育環境を

教育現場の感動と信頼と誇りを高め、知力・体力・徳力のバランスの取れた教育を実践。ひとりひとりが夢を実現させる力を育む、優れた教育環境を整備します。

[経済] やらわかな発想と確かな検証でワークライフバランスの推進を

区内、近隣の新たな雇用創出の可能性を模索しながら、働く女性や、家庭も仕事も充実させたい男性、第二・第三の人生を応援します。

[命を守る] セーフコミュニティへの取り組み推進を

災害、事故、事件、自殺、虐待などを予防し、一人ひとりの命を守る地域づくりを推進します。

[医療 福祉] 安心を実感できる地域医療の整備を

心の通う地域医療と最先端医療、専門医療と総合医療、医師不足を補う柔軟なネットワークづくり。女性・高齢者・小児・障害者等々あらゆる人に安心な医療のバリアフリー化を促進します。

[緑の保全] 総合的視点にたった確かな保全計画を

担い手の育成等、将来を見据えた確かな緑の保全計画を推進します。地域環境保護の視点と身近な緑の保全、都市基盤整備のバランスの取れた意識づくり、体制作りを目指します。



関心と感動を